



(裏面)

(注1) 本様式は、主たる事業(最近1年間の売上高等が最も大きい事業)が属する業種(主たる業種)が指定業種である場合であって、主たる業種及び申請者全体の売上高等の双方が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) 主たる事業が属する指定業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。

(注3) 「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(留意事項)

①本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

②本認定を受けた後、有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

申請者名：\_\_\_\_\_

(表1：事業が属する業種毎の最近1年間の売上高)

当社の主たる事業が属する業種は\_\_\_\_\_ (※1)

業種 (※2)	最近1年間の売上高	構成比
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
全体の売上高	円	100%

※1：最近1年間の売上高が最大の業種名(主たる業種)を記載。主たる業種は指定業種であることが必要。

※2：業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

(表2：最近1か月の売上高)

主たる業種の_____月の売上高【A】	円
全体の_____月の売上高【A'】	円

(表3：最近1か月の前年同月の売上高)

主たる業種の前年_____月の売上高【B】	円
全体の前年_____月の売上高【B'】	円

(イ) 最近1か月の主たる業種の減少率

$$\frac{【B】}{【A】} \times 100 = \text{円} \quad \text{円}$$

$$\frac{【B】}{【A】} \times 100 = \text{円} \quad \text{円} \quad \times 100 = \text{円} \quad \%$$

(イ') 最近1か月の全体の減少率

$$\frac{【B'】}{【A'】} \times 100 = \text{円} \quad \text{円}$$

$$\frac{【B'】}{【A'】} \times 100 = \text{円} \quad \text{円} \quad \times 100 = \text{円} \quad \%$$

(表4：最近1か月の後の2か月の見込み売上高)

主たる業種の_____月の売上高【C】	円
全体の_____月の売上高【C'】	円

(表5：最近1か月の後の2か月の前年同期の売上高)

主たる業種の前年_____月及び_____月の売上高【D】	円
全体の前年_____月及び_____月の売上高【D'】	円

(ロ) (イ) の期間を含めた今後3か月間の主たる業種の売上高等の実績見込み

$$\frac{\text{【B+D】} \quad \text{円} - \text{【A+C】} \quad \text{円}}{\text{【B+D】} \quad \text{円}} \times 100 = \quad \%$$

(ロ') (イ') の期間を含めた今後3か月間の全体の売上高等の実績見込み

$$\frac{\text{【B'+D'】} \quad \text{円} - \text{【A'+C'】} \quad \text{円}}{\text{【B'+D'】} \quad \text{円}} \times 100 = \quad \%$$

(注) 認定申請にあたっては、主たる業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等  
(例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など) や、上記の  
売上高が分かる書類等 (例えば、試算表や売上台帳など) の提出が必要。

(別紙)

当社の売上高（完成工事高）は下記のとおりです。

令和 年 月 日

○主たる業種の売上高

(最近3ヶ月)

(前年同月)

年 月	売 上 高	年 月	売 上 高
年 月	A 円	年 月	B 円
① 年 月	円	③ 年 月	円
② 年 月	円	④ 年 月	円
①+②	C 円	③+④	D 円
合 計 (A+C)	円	合 計 (B+D)	円

○全体の売上高

(最近3ヶ月)

(前年同月)

年 月	売 上 高	年 月	売 上 高
年 月	A' 円	年 月	B' 円
① 年 月	円	③ 年 月	円
② 年 月	円	④ 年 月	円
①+②	C' 円	③+④	D' 円
合 計 (A'+C')	円	合 計 (B'+D')	円

申請者

印